

地震ハザードマップ 地域の危険度マップ

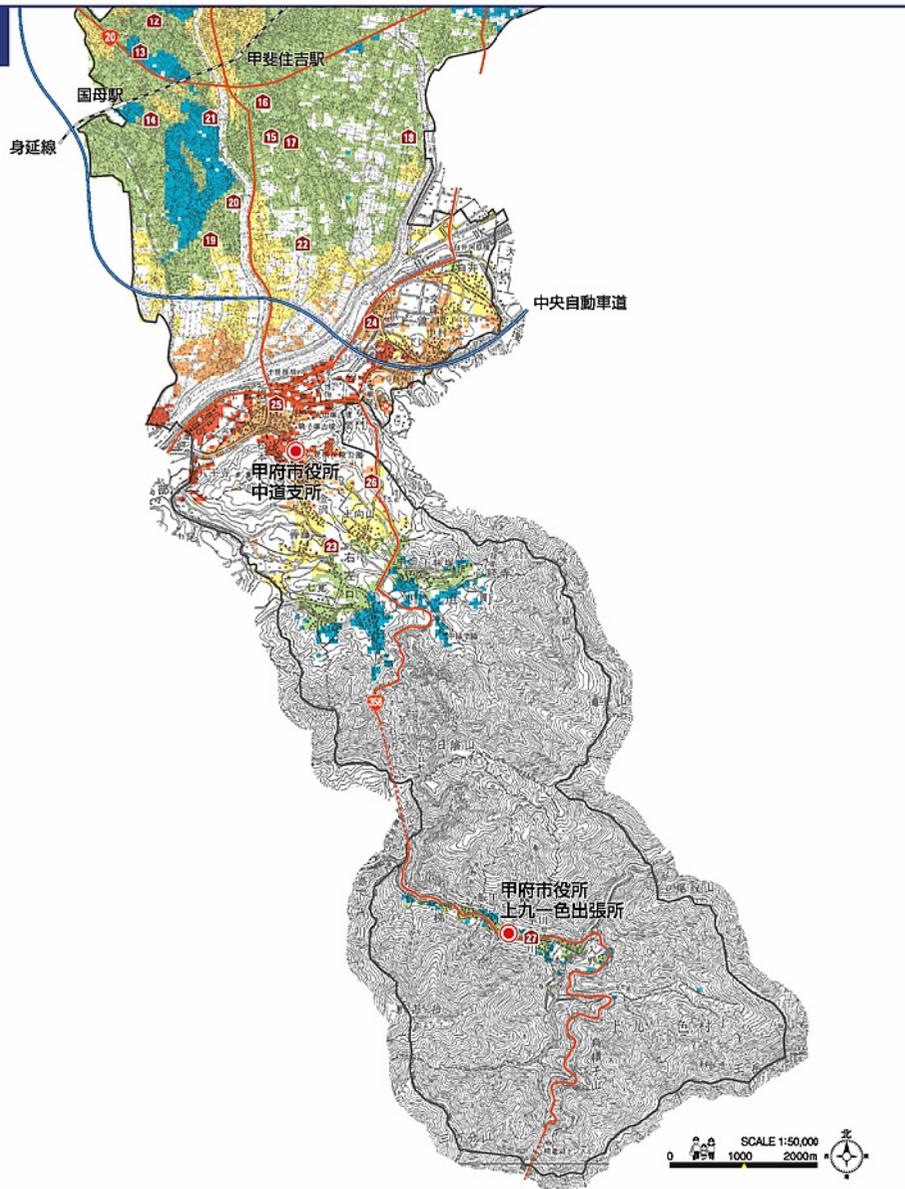
甲府市

地域の危険度マップの見方

地域の危険度マップは、地震による揺れによって発生する建物被害の分布を、相対的に表したものです。具体的には、「揺れやすさマップ」で示した強さの揺れとなった場合に、建物に被害が生じる程度を「危険度」として表しています。この「危険度」は、50メートルメッシュ単位で分割した地域に建っている建物の中で、全壊する建物の割合により設定しています。

危険度の数値が大きくなるほど、地域の建物が受ける被害が大きくなります。特に古い木造建物は地震に弱い傾向がありますので、危険度が低い地域であっても十分な対策が必要です。耐震診断を受け、必要に応じて耐震補強を行ってください。

市南部



市北部

地域の危険度マップ…凡例

- 危険度30%以上
- 危険度20~30%
- 危険度10~20%
- 危険度5~10%
- 危険度0~5%

- 避難所
- 市役所・支所

